

(DPC データベースを用いた、急性期入院患者に対する早期リハビリテーションの効果検証)に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2018 年 3 月 19 日 ~ 2022 年 1 月 31 日

〔研究課題〕

DPC データベースを用いた、急性期入院患者に対する早期リハビリテーションの効果検証

〔研究目的〕

急性期入院患者は全身的な問題により安静臥床を強いられることが多いですが、低活動に伴う身体機能低下が問題視されています。早期のリハビリテーション介入により、この身体機能低下を予防することができると考えられていますが、実際の日常臨床現場でその効果は十分検討がなされていません。本研究の目的は DPC データベースを用いて、急性期入院患者に対する早期リハビリテーションの効果を検証することです。

〔研究意義〕

早期リハビリテーションの効果の大きさや、早期リハビリテーションを必要とする疾患種類を明らかにすることで、より適切なリハビリテーションの提供に関する科学的根拠を獲得します。

〔対象・研究方法〕

研究デザインは後方視的コホート研究です。日本医療データセンターから入手した包括医療費支払い制度(DPC)データベースを用います。対象は 2014 年 4 月から 2017 年 8 月までの間にデータセンターに登録された以下の疾患とします。脳損傷(ICD10:I60、I61、I63、S01)、急性心不全(I50)、肺炎(J10~18、J69)、大腿骨骨折(S72)、消化器癌(C16~26)

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科

〔個人情報の取り扱い〕

個人が特定できるような情報は含みませんので、データ使用拒否の申し出がありましても対応出来ません。

研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション部 理学療法士 鈴木 翔也
研究分担者: 帝京大学医学部附属溝口病院 リハビリテーション科 准教授 百崎 良
住所: 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL: 044-844-3333(代表) [内線 3259]